

スムーズな避難行動のために

図総務課地域安全対策係 ☎028(677)6029

いざ災害が発生したとき、あらかじめ自分の取る行動を想定していないと“避難を始めるまでに時間がかかってしまう”“どこに避難すればいいかわからない”などして逃げ遅れてしまう恐れがあります。

日頃から、どうやって情報を入手するのか、いつ避難を始めるのかなどを想定しておき、家族で話し合うなどしていざというときにスムーズな避難行動が行えるようにしましょう。

避難行動判定フロー

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅での災害リスクと取るべき行動を「避難行動判定フロー」で確認してみましょう。

避難行動判定フロー

あなたが取るべき避難行動は？



ハザードマップ QRコード

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印を付けてみましょう。

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていない所でも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、町からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高い所にいる
③浸水しても水が引くまで我慢できる。水・食糧などの備えが十分にある場合は、自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。
※土砂災害の危険があっても、頑丈な建物の上層階にいる場合は、自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する人は、避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

警戒レベル3が出たら、町が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

警戒レベル4が出たら、町が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。

新型コロナウイルス感染症への対策も忘れずに ~知っておくべき5つのポイント~

1. 今いるところが危険な場所か・避難場所まで避難する必要があるかを考えましょう。

○水害時に、高台で付近に河川や急傾斜地がない所に住んでいる人などは、2階以上へ避難する垂直避難を検討する。

普段から、今住んでいる地域や職場が、土砂災害危険区域や浸水想定区域に入っていないかなどを、ハザードマップで確認しておきましょう。



2. 安全なところに住む親戚・知人の家などに避難を検討しましょう。

○災害が起きる前に、親戚や知人の家などに相談しておき、いざという時に避難させてもらうなど対策を考える。

避難所では長期に渡って他人との共同生活を送るため、感染リスクが上がるとともに、それがストレスとなり、トラブルが発生する可能性があります。

3. マスク・消毒液・体温計はできるだけ持参しましょう。

○マスク・消毒液・体温計などは、できるだけ持参する。

○避難所生活に必要なものはできるだけ準備する。

町でも調達を進めていますが、避難場所に多くの人が一度に集まった場合、不足することが予想されます。



4. 開設されている避難場所を町ホームページ等で調べましょう。

○どの避難場所が開設されているか、町のホームページや芳賀チャンネルで調べる。

町では、11カ所を指定緊急避難場所と指定避難所に指定していますが、災害の種類や建物の被害状況に応じて、開設するかの判断をしています。

5. 豪雨・強風時の屋外の移動は危険ですので避けましょう。

○風雨が強くなる前に避難を済ませる。

○避難が遅れてしまったときは、無理に屋外に出ず、自宅などの2階以上に避難する垂直避難など、屋内で直ちに命を守る行動をとる。

豪雨や強風の中避難をするのは、視界不良で周りの状況がわからなくなったり、強風で動けなくなったりするなど非常に危険です。

